

【第3学年】 児童の実態・課題及び授業改善策

	児童の実態・課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●文章のおおよその内容を捉えることは出来るが、具体的に書かれている内容を正しく読み取ったり、関連付けて読んだりすることに課題が見られる。 ●友達の話に興味をもって聞くことができる反面、自分の思いや考えを話すことに苦手意識が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文、説明文ともに、文章の構造を捉えることを習慣化する。 ・物語文、説明文それぞれの内容を読むために、着目すべき言葉（読む視点）を提示し、児童が一人で文章を読むことができるようにする。 ・話す目的や自分が話す内容の中心を明らかにして話すよう指導をする。 ・ICTを活用して、話し方や話し合いの仕方のモデルを示し、児童が学習のイメージをもって取り組めるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域について興味をもっている。 ●資料を読み取る力、分かったことや考えたことをまとめる力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活に関連付けながら資料を読み取ったり、調べたり考えたりできる学習活動を増やす。 ・分かったことや考えたことを発表し合い、板書でまとめ、全体で共有する。そこから新たな気づきを付け足したり修正したりするように指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ●技能面は身に付いている児童が多い。しかし、ケアレスミスが目立つ傾向が見られる。（単位の付け忘れなど） ●問題に対して自分の考えをもつことができるようになってきているが、発表する児童が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解き終わった児童に、計算の再確認や単位の付け忘れがないかなど見直しの声かけを繰り返し伝える。 ・ノートの書き方の見本を配布し、思考過程が表せるようにしていく。また、数字や単位を丁寧に書くことを指導していく。 ・友達と考えを出し合い、より適した考えに気付くような学習を意図的に取り入れながら指導する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●実験の結果から結論（考察）に結び付けて考えることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の最初の時点で、学習問題を学級全体で共有し、実験の目的を明確にもたせる。 ・「問題」と、それに対する「予想と根拠(理由)」、「実験と結果」「結果から分かったこと」など、ノートの基本的な取り方を示し、思考の流れを可視化する。 ・結果をまとめる前にもう一度学習問題を確かめ、実験結果からどのようなことが分かるのかを、結び付けられるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●日本にむかしから伝わる曲や季節の歌になじみがない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌集「うたはともだち」を活用して、毎時間児童が歌を選び全員で共有して歌う活動を取り入れる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ●道具を使って表現する方法を理解し、自分の思いや感じたことを表現しようとしている。自分で工夫して表現する力の定着には、時間を要する場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を重視し、児童一人一人がめあてをもって楽しく取り組めるようにする。 ・制作中の振り返りを活用し、表現を深められるよう指導する。友達の作品を鑑賞する中で、意見を交換する時間を取り、表現の工夫について学び合う機会を設定する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と互いのよいところを認め合いながら楽しんで運動することができる。 ●技能面（走り方やバトンパス、ボールの投げ方）で、体の動かし方に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と互いに運動する場面を見せ合い、アドバイスを交換することで、考えて運動するように促す。 ・学習カードを用いて、「自分のめあて」と「めあてを達成するために工夫すること」、「振り返り」を繰り返す行うことで、自ら考えて運動する力を身に付けさせていく。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ジェスチャークイズや歌などの活動に積極的に取り組む児童が多い。 ●自分の思いや考えを英語で伝えることを苦手とする傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを英語で伝えるときの伝え方をあらかじめ例示したり、声に出して繰り返し練習したりする。 ・楽しみながら英語に親しむことができるよう、英語の歌やジェスチャークイズ等のアクティビティを多く取り入れる。 ・担任が日常生活の中で積極的に英語を使うことで、間違いを恐れず英語を話してみることが大切だということを伝えていく。